

スパークジャパンのDX戦略

CREATE HAPPINESS

新しい価値を常に創造し、社員・お客様・関わる人たちみんなが幸せになれるように
全ての人にとってのベストパートナーになります。



SPARKJAPAN

スパークジャパン株式会社

DX戦略

COMMUNICATION + ICT SOLUTION

トップメッセージ

<基本方針>

当社は、ビジネス環境の変化に迅速に対応し、お客様の課題解決やニーズに的確にお応えすることで、信頼されるパートナーとして成長し続けることを目指しております。

これまで、ICT（情報通信技術）を活用し、RPAやAI-OCR、SaaSサービスの導入など、デジタル技術を積極的に取り入れ、業務の高度化と生産性向上に努めてまいりました。

今後は、これらの取り組みを全社的なプロジェクトとして「DX戦略」として再構築し、公表いたします。

<DX戦略>

当社は、経営資源を集中的に投入し、以下の4つの取り組みを進めることで、顧客満足と企業価値の向上を目指します。

- 1. DX人材の育成:** デジタル技術に精通し、業務の変革を推進できる人材を育てるため、社内研修や専門教育を強化し、デジタル分野のスキルを持つ人材を育成します。
- 2. デジタル技術による業務改善:** RPAやAI-OCR、クラウドソリューションなどの最新技術を活用し、業務プロセスを自動化・効率化することで、社員の生産性を高めます。
- 3. データ活用による事業変革:** 事業価値の高いデータをBIツールやAI分析を活用し、顧客のニーズや市場の変化を把握して、迅速に対応できる体制を整えます。これにより、事業戦略の精度を高め、より効果的なサービス提供を実現します。
- 4. 新しいビジネスモデルの創出:** デジタル技術の進展を活かし、これまでにない新たなサービスや製品の開発を目指します。これにより、お客様の多様なニーズに応え、持続可能な成長を実現します。

これらの取り組みを通じて、私たちはお客様により高い満足度を提供するとともに、当社の企業価値をさらに高めてまいります。

スパークジャパン株式会社
代表取締役社長 岡田 憲明

スパークジャパンが目指す姿

スパークジャパンが目指す姿

社内・ビジネスにおけるあらゆる課題をITの技術または、サービスで解決し、ビジネスの環境の向上に貢献することを通じて、「幸せの循環」を創造する社会を実現します。

「Create Happiness」～幸せを創造する～

スパークジャパン株式会社

Webマーケティング事業

コーポレート・ブランディングサイト構築・運用支援/ECサイト構築・支援/Webマーケティング立案・運用支援/CRM最適化

- ・新規顧客獲得
- ・マーケティング最適化
- ・顧客満足度のアップ

システム開発事業

業務アプリケーション開発/派遣・SES/クラウドサービス導入支援・伴走支援

- ・業務の効率化
- ・属人化の排除
- ・DXの推進

ITインフラ事業

ネットワーク構築/セキュリティ対策/データセンター/クラウドサービス運用

- ・安全な情報資産管理
- ・情報システム運用の効率化
- ・リモートワークの促進



お客様（お取引様）



価値提供

サービス

専門性の高いスタッフによるソリューションサービスを通して、お客様の経営課題をトータルサポート

価値

- ・ Webサイトを活用した新たな顧客開拓
- ・ 業務の標準化・効率化・属人化の排除
- ・ 社員の負担軽減や新たなリソース配分
- ・ 間接コストの削減・売上向上
- ・ IT資産の安全な運用と管理

ソリューションサービス提供体制

- ・ 当社のICTソリューションサービスは、お客様の営業戦略から業務プロセスを分析し、あるべき姿（成長イメージ）を創造した上で、効率的なソリューション提案を行い、ICTのサービス提供を行っています。
- ・ それぞれのソリューションに対しては、専属（DX）のスペシャリストが支援することで、Webプロモーションから業務効率化、生産性の効率化、IT資産の最適化などが継続的に実施できるように高品質なサービス提供を行っています。

DX戦略

デジタル技術の活用とDX人材の育成を通じて業務プロセスを効率化・最適化し、蓄積したデータ資産を活用して、データに基づく意思決定や新たなサービスの提供を実現します。これにより、従来のビジネスの枠を超えた新しいビジネスモデルを創造し、企業の競争力を高め、持続的な成長を目指します。

企業価値の向上

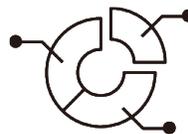
- ・ 新規顧客の獲得
- ・ 新たなビジネスの創出
- ・ 事業競争力の強化
- ・ 顧客満足度の向上

デジタル技術による業務改善



- ・ 生産性向上
- ・ 属人化の排除
- ・ 業務プロセスの標準化
- ・ 品質向上
- ・ デジタル技術の活用

データの活用による事業変革



- ・ デジタル技術の活用
- ・ データの可視化
- ・ 事業変革
- ・ リソース最適化
- ・ 高度な人事管理

デジタル化と環境整備



RPA、AI、ノーコード・ローコードツール、SaaSサービスを活用し、事務業務や営業・開発業務の効率化を実現し、品質及び生産性の向上、業務の負担軽減に仕組みを導入します。

デジタル活用の促進



BIやAIを使ったデータ分析により、業務の標準化や生産性向上を実現します。また、データを見える化することで、経営戦略の立案をサポートし、顧客に新たな価値を提供します。

DX人材の育成



社内における研修やeラーニング、社内DXへの取り組みやケーススタディの勉強会等を行い、ITリテラシーの向上とナレッジ化を行い、DX人材の育成に取り組みます。

IT環境の整備

DX人材育成

IT環境の整備

DX戦略実現に向けた、IT環境整備に向けた取り組み事項

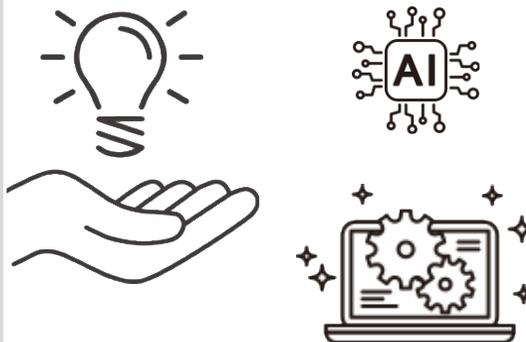
① 脱レガシーシステム

クラウドサービスへの移行、ネットワーク環境の強化、最新デバイスの導入により、柔軟性・拡張性・セキュリティの高いIT基盤を構築します。



② 最新技術の導入と実践

ローコード・ノーコード技術やAI、機械学習、RPA、IoTといった最新技術を積極的に活用し、業務の効率化と高度化を推進します。



③ リソースの最適化とデータガバナンスの強化

データベース、BIツール、データガバナンス体制を整備し、データに基づいた事業推進、組織運営を行い、迅速かつ正確な意思決定を可能にします。



DX人材育成

スパークジャパンでは、全社員がデジタル技術を活用し、業務改善や新たな価値創造に貢献できる人材を育成します。



STEP1

ITリテラシー、DXリテラシーの向上

デジタル技術に対する抵抗感をなくし、DXの基礎知識を習得する

- IT基礎知識、情報セキュリティ、個人情報保護などの学習
- 社内システム勉強会によるデジタルツールの活用方法の共有
- DXに関する社内報やニュースレターの発信



STEP2

DX実践スキルの習得

業務における課題を特定し、デジタル技術を活用して解決できる能力を身につける。

- 部門ごとの課題解決型ワークショップの実施し、デジタル技術を用いた解決策を検討
- 社内システムの活用事例等に社内共有（ナレッジ化）
- 顧客への価値提供について検討



STEP3

DXリーダーの育成

DXプロジェクトを主導し、組織全体のDX推進を牽引できる人材を育成する

- DX推進委員会への参画機会の提供
- 社外向けDXコンサルタント育成プログラムの検討と実践
- 顧客への価値提供に向けた実践

DX成果指標

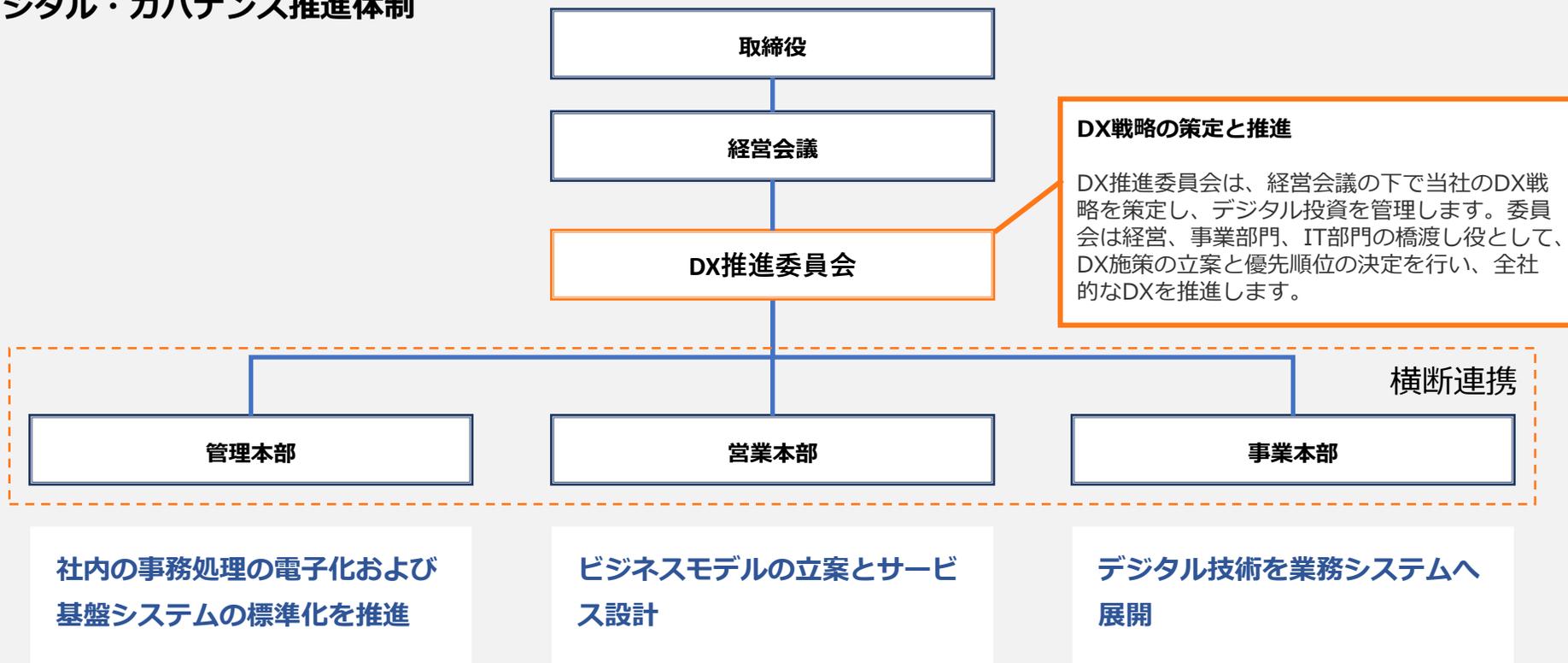
DX戦略を推進するための達成指標を設定

テーマ	取り組み目標	KPI（定量指標）
1. デジタル化と環境整備	<ol style="list-style-type: none">1. ペーパーレス化の推進とデータ活用の最適化<ol style="list-style-type: none">① 申請書や帳票、契約書などの電子化、ペーパーレス化とリモート化の推進② 電子化、デジタル化によるデータ分析・活用の促進2. セキュリティの強化<ol style="list-style-type: none">① セキュリティ方針の見直しやリスクの啓蒙、研修などによるリテラシー向上3. クラウド化の推進<ol style="list-style-type: none">① 基幹システム（レガシー）を中心に、プラットフォーム活用（クラウド化）などによるコスト・運用負荷の軽減と柔軟性の向上、データ活用基盤の整備	<ul style="list-style-type: none">• 属人化の排除率• 生産性の向上（一人当たりの時間生産量の減少率）• 書類棚減率• クラウド化率
2. デジタル活用の促進	<ol style="list-style-type: none">1. データの活用<ol style="list-style-type: none">① BIを活用したデータ分析により、迅速かつ精緻な意思決定と新たな顧客価値の創出を実現。2. 業務効率化<ol style="list-style-type: none">① デジタルツールやRPAを用いて、バックオフィス業務の効率化と自動化を推進② デジタルツールの導入で、申請手続きのペーパーレス化と自動化の推進③ コミュニケーションツールでナレッジ共有と問合せ対応の効率化	<ul style="list-style-type: none">• データ活用テーマ数• 業務の自動化・効率化• 価値創出（新規顧客獲得割合）• 品質向上（クレーム件数）
3. DX人材育成及び体制	<ol style="list-style-type: none">1. DX人材の育成促進と体制の整備・推進<ol style="list-style-type: none">① DX推進人材の育成促進（社内外のDX研修受講、各種資格取得の促進）② DX推進プロセスの体系化や体制2. パートナー企業のDX人材の確保<ol style="list-style-type: none">① DX推進に協力的なパートナー企業の支援3. 最適なDX推進体制への見直し、再構築	<ul style="list-style-type: none">• IT関連資格取得者数• DX関連研修受講数• DX関連のパートナー企業提携数

DX推進体制

経営企画室を中心にDXの取り組みに関わる部門を横断的に連携し、DXを推進する。

デジタル・ガバナンス推進体制



※DX戦略推進・経営管理機能強化・IT基盤整備等について、推進会議を定期的を開催

情報セキュリティ方針

基本方針

1. 社内体制および情報セキュリティ 規程の整備

当社は、情報セキュリティの維持及び改善のために必要な管理体制を整備し、必要な情報セキュリティ対策の正式な規則として情報セキュリティ規程を定めます。

2. リーダーシップにおける責任および継続的改善

当社の経営者は、本方針の遵守により、当社及びお客様の情報資産が適切に管理されるよう主導します。

3. 法令、契約上の要求事項の遵守

当社の従業員は、事業活動で利用する情報資産に関連する法令、規制、規範及びお客様との契約上のセキュリティ要求事項を遵守します。

4. 従業員の取組み

当社の従業員は、情報セキュリティの維持及び改善のために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを継続します。

5. 違反及び事故への対応

当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範及びお客様との契約に関わる違反及び情報セキュリティ事故への対応のための体制を整備し、違反及び事故の影響を低減します。



セキュリティ対策自己宣言